

## 平成 30 年春期 プロジェクトマネージャ試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2018,6,20

4 月 15 日 (日) に行われた平成 30 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、プロジェクトマネージャ試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■プロジェクトマネージャ試験 (PM)

[平成 30 年春期のプロジェクトマネージャ試験 統計情報]

応募者	18,212 人
受験者	11,338 人
合格者	1,496 人
合格率	13.2%

平成 30 年春期のプロジェクトマネージャ試験の合格率は 13.2%で、前回の 13.1%とほぼ同じでした。

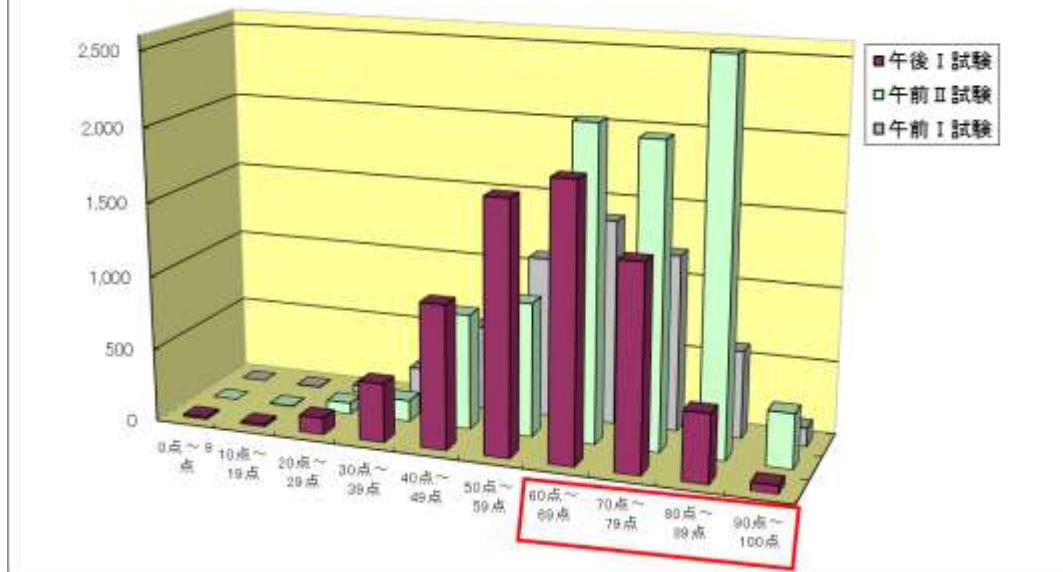
次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

(平成 30 年春 プロジェクトマネージャ試験 スコア分布)

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	0	0	15	D 669	
10 点 ~ 19 点	4	4	18		
20 点 ~ 29 点	50	77	114	C 710	
30 点 ~ 39 点	227	145	401		
40 点 ~ 49 点	573	786	978	B 848	
50 点 ~ 59 点	1,093	909	1,703		
60 点 ~ 69 点	1,390	2,123	1,855	A 1,496	
70 点 ~ 79 点	1,197	2,046	1,378		
80 点 ~ 89 点	597	2,606	463		
90 点 ~ 100 点	126	371	54		
計	5,257	9,067	6,979	3,723	1,496
対前試験比率		172.5%	77.0%	53.3%	40.2%
午前 I 免除者概算	6,081	53.6%			

合格者数	1,496	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	3,310	63.0%	1,814
午前 II 60 点以上合計	7,146	78.8%	5,650
午後 I 60 点以上合計	3,750	53.7%	2,254
午後 II -A 評価	1,496	40.2%	0

平成30年春 プロジェクトマネージャ試験 得点分布



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 6,081 人 (53.6%) おり、受験者の 5 割以上が午前 II からの受験となっています。この午前 I 試験で基準点 60 点以上取ることができた人は 3,310 人 (受験者の 63.0%) でした。

午前 II 試験で基準点以上の方は 7,146 人 (受験者の 78.8%) で前回の 80.6% から微減です。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 53.7% で、前回の 48.8% から増加しました。

午後 II で合格点の A 評価だった人は 40.2% で、前回試験の 44.5% と比べてこちらは減少しています。複合的なテーマで記述しづらかったことが影響している可能性があります。

## ■平成 30 年春期 プロジェクトマネージャ試験の出題内容について

### (午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

- 高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。今回の問題内容は、計算問題が 7 問で増え (前回 4 問)、考察問題が 1 問で減り (前回 3 問) ました。他の文章問題は 19 問 (前回 18 問)、用語問題は 4 問 (前回 4 問) で大きな変更はなかったです。基礎理論の問題が前回同様、例年より解答しやすい内容でしたが、新傾向問題が少し難しかったといえます。

- 過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率です。

- 分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ 4 問でした。

- 新傾向問題は次の 5 問で細かい知識を問う問題だったといえます。

(新傾向問題)

問 8 ノード分割後の B+木構造

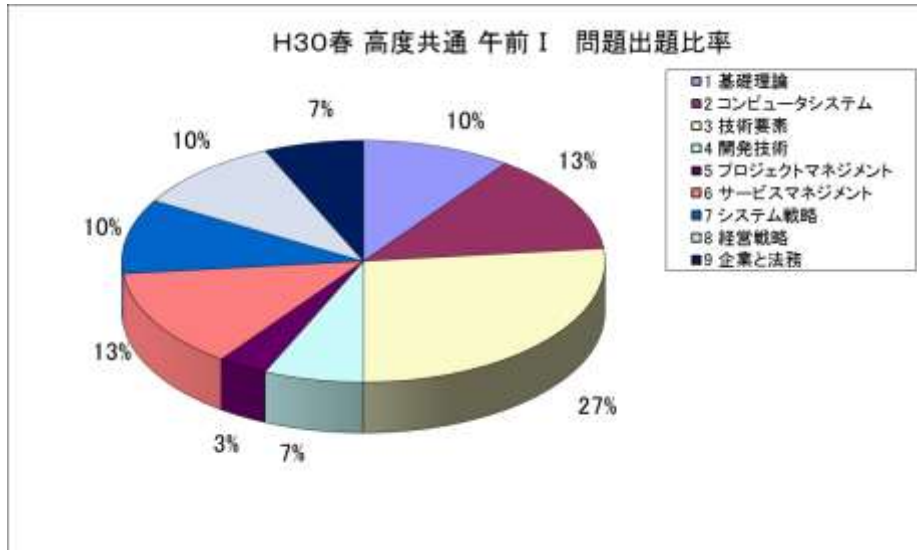
問 9 NoSQL に分類されるデータベース

問 10 ESTI で提案された NFV に関する記述

問 13 VDI サーバのセキュリティ効果を生み出す動作

問 24 EMS の説明

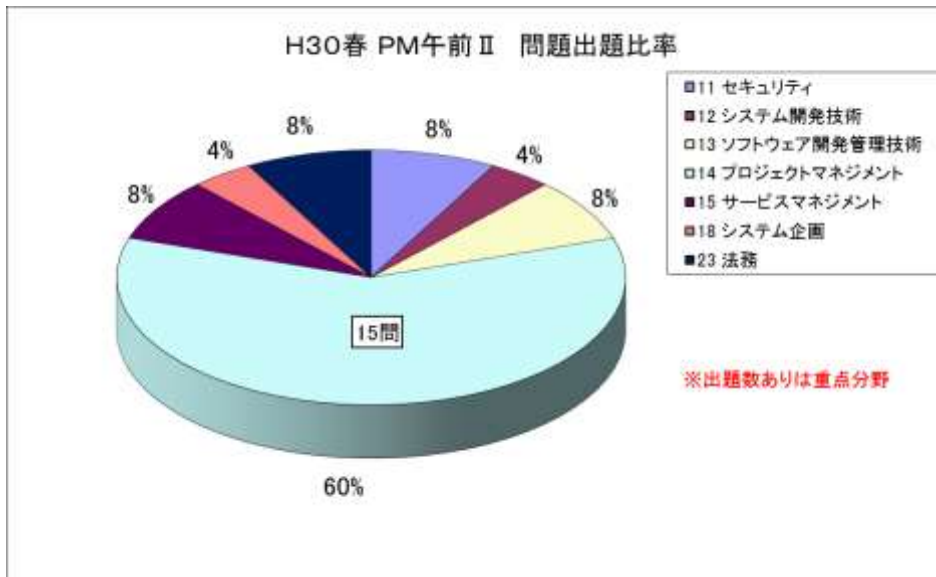
平成 30 年春期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II の専門知識問題)

午前 II 試験では、専門分野のプロジェクトマネジメント (PM) 分野で 15 問出題されています。PMBOK と明記した問題は今回 5 問で、前回の 3 問から増加しました。次回試験では、PMBOK は第 6 版が最新になりましたので、第 5 版との違いを確認しておいてください。また、ISO 21500 「プロジェクトマネジメントの手引」が JIS 化され、JIS Q 21500:2018 となりましたので、次回試験から出題されると思われます。一読しておきましょう。

平成 30 年春期のプロジェクトマネージャ試験 午前 II 問題出題比率



過去のプロジェクトマネージャ試験問題の出題は 9 問ありました。この中で平成 28 年の問題が 5 問あります。新傾向問題としては、次の 4 問が挙げられます。

- 問 1 変更要求申請で作用するプロセスグループ (ISO 21500)
- 問 5 資源コントロールプロセス (ISO 21500)
- 問 6 ファストトラック適用による総所要日数の変化
- 問 12 満足性に対するリスクと評価事例 (JIS X 25010)

次に、午後Ⅰと午後Ⅱ試験の分析結果をお知らせします。

**〔午後問題〕**

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。今回の試験では SaaS 事例、新しい品質管理指標、コミュニケーションマネジメント計画など新しいトピックスを取り入れた問題になっています。

問1 SaaS を利用した営業支援システムを導入するプロジェクト（運輸会社） 普通

SaaS 決定期理、システム化方針、要件定義、システム導入で機能限定した理由、利用者数・データ容量の把握で確認すること、最小限のデータで移行する理由、リスク回避対象

問2 システム開発プロジェクトの品質管理（SI 企業） 普通～やや難

品質確保活動、PM の品質管理意識、新しい品質管理指標、欠陥摘出状況、プロジェクト群の特性、テストの考え方、品質判断を誤る状況、欠陥未摘出のリスク、定量分析確認事項

問3 情報システム刷新プロジェクトのコミュニケーション（SI ベンダ） 普通～やや難

CRM プロジェクト体制、ステークホルダ登録簿の作成と特性整理の狙い、重要人物、コミュニケーションマネジメント計画の作成、効果説明の理由、業務範囲の拡大、理解を深める活動

・午後Ⅱの論文問題の出題分野とテーマは次のとおりです。

今回の問題は単一のテーマでなく複合的なマネジメント要素を含んだ問題で、従来に比べて少し記述しにくかったといえます。

問1 システム開発プロジェクトにおける非機能要件に関する関係部門との関係

プロジェクトの特徴、代表的な非機能要件と関係部門関係での注意、連携を図るために検討・実施した取組み、タスクの内容、関係部門の役割、取組みの実施結果の評価と改善点

問2 システム開発プロジェクトにおける本稼働間近で発見された問題への対応

プロジェクトの特徴、本稼働間近で発見された問題、困難と判断した理由、状況把握と影響分析、暫定稼働のための対応策、関係部門との調整・合意内容、実施状況の評価と改善点

